

(宮崎県商工会議所連合会 共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

2020年1月～3月期

第96回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事: 宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果(DIの推移)
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - (1)前期比 前期比(令和元年10月～12月比)
 - (2)前年同期比 前年同期比(平成31年1月～3月比)
 - (3)来期見通し 来期見通し(令和2年4月～6月見通し)
5. 業種別の景気動向
 - (1)製造業
 - (2)建設業
 - (3)卸売業
 - (4)小売業
 - (5)サービス業(飲食関連・観光関連を含む)
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1)回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	154社
回答率	30.8%

(業種別)

製造業	43社
建設業	32社
卸売業	14社
小売業	29社
サービス業	36社
合計	154社

(2)実施時期

2020年1月～3月期

(3)調査内容

調査対象の第4四半期について、前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

(4)調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(5)調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答をFAX等で返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所経営指導部が集約して、集計分析を行った。

2. 調査結果(DI)

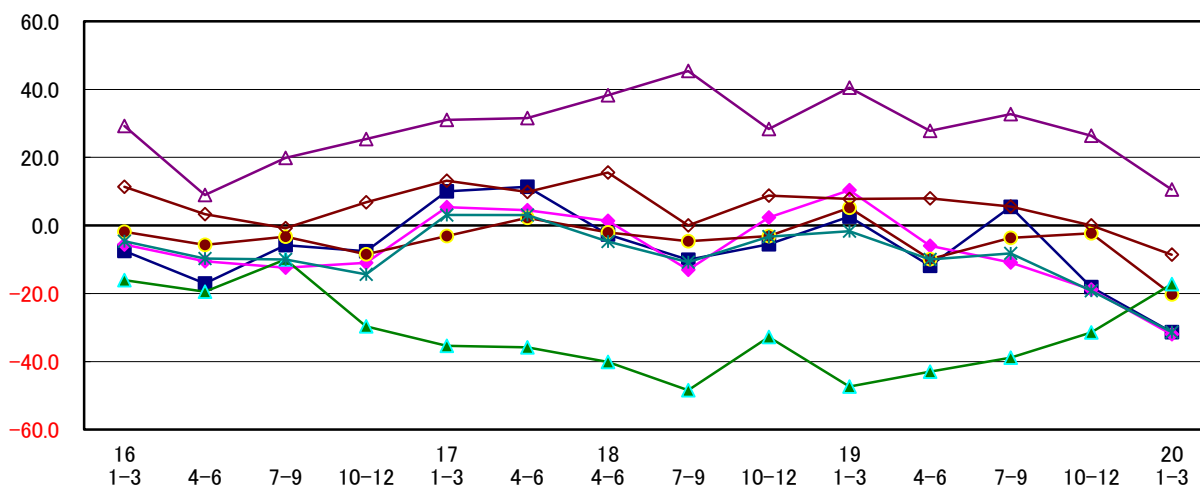
DIとは(景況判断指数)とは

DIは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

売上DI = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)
 採算DI = (好転 ") - (悪化 ")
 資金繰りDI = (好転 ") - (悪化 ")
 仕入価格DI = (下落 ") - (上昇 ")
 雇用状況DI = (不足 ") - (過剰 ")
 設備投資DI = (拡大 ") - (減少 ")
 業況DI = (好転 ") - (悪化 ")

前年同期比(全企業DIの4か年の推移)



		16 1-3	4-6	7-9	10-12	17 1-3	4-6	18 4-6	7-9	10-12	19 1-3	4-6	7-9	10-12	20 1-3
■	売上	-7.5	-17.1	-5.8	-7.6	10.0	11.4	-2.7	-10.1	-5.5	2.6	-11.9	5.5	-18.1	-31.4
◆	採算	-5.6	-10.6	-12.4	-11.0	5.4	4.5	1.3	-13.1	2.4	10.3	-6.0	-10.9	-18.9	-32.0
●	資金繰り	-1.9	-5.7	-3.3	-8.5	-3.1	2.3	-2.0	-4.6	-3.2	5.2	-9.9	-3.7	-2.4	-20.3
▲	仕入価格	-16.0	-19.5	-10.0	-29.7	-35.4	-35.9	-40.1	-48.4	-32.8	-47.4	-43.0	-38.9	-31.5	-17.2
△	雇用状況	29.3	8.9	19.8	25.4	31.0	31.6	38.3	45.4	28.4	40.5	27.8	32.7	26.4	10.5
◇	設備投資	11.3	3.3	-0.8	6.8	13.2	9.9	15.5	0.0	8.8	7.8	8.0	5.5	0.0	-8.6
*	業況	-4.7	-9.8	-10.0	-14.4	3.1	3.0	-4.8	-10.8	-3.3	-1.7	-10.0	-8.3	-19.2	-31.4

3. 概況

新型コロナウイルス感染症の影響による経済の冷え込み

(1) 今期の特徴

年度末を迎え、季節的な要因で収益の増加等が見られる時期であるが、今期は新型コロナウイルス感染症が流行し、全業種で売上減少の影響が出ている。

また、売上減少の原因として、昨年10月の消費税増税、業種によっては暖冬等の影響もあるとのコメントもあった。

新型コロナウイルス感染症の影響は来期以降にも及ぶと予想するコメントも多くあり、事業を継続していくための対策が必要となる。

(2) 来期の見通し

全業種において、来期の見通しは悪化を予想する企業が多い。特に、今期に発生した新型コロナウイルス感染症による影響が現状で出ており、今後の経済悪化を不安視するコメントが多く見られた。

また、新型コロナウイルス感染症以外にも、消費税増税や従業員不足等の問題もあり、来期の経済への影響は計り知れない。

(3) 経営上の問題点

1位「需要の停滞」、2位「熟練技術者(従業員)の不足」、3位「従業員の不足」、4位「人件費の増加」、5位「原材料(仕入単価)価格の上昇」という結果であった。

前回の結果と比較すると、1位、4位、5位は変わらずであったが、2位と3位の順番が入れ替わる結果となった。

業種別にみると、卸売業では、「県内大手企業の事業展開による競争の激化」、「県外大手企業の進出による競争の激化」という項目が2位、3位に入る結果となった。

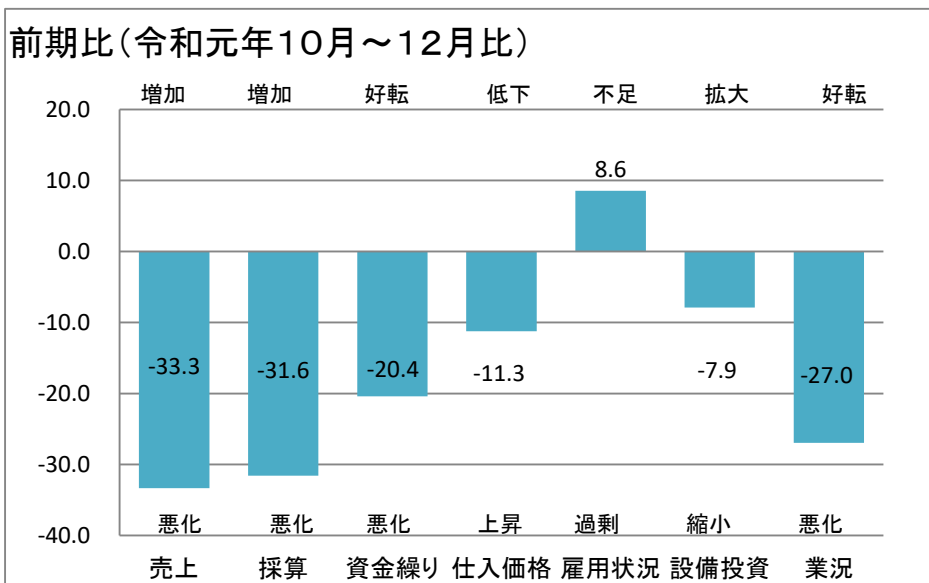
(4) 今後の対応策

1位「生産性を向上させたい」、2位「新規市場を開拓したい」、3位「その他の合理化を実施したい」、4位「従業員を新規雇用したい」、5位「新製品の開発を行いたい」という結果であった。

前回の結果と比較すると、変化なしであった。

業種別にみると、卸売業では、「新規市場を開拓したい」という項目が、前回5位から1位になる結果となった。

4. 県内の景気動向(全業種)

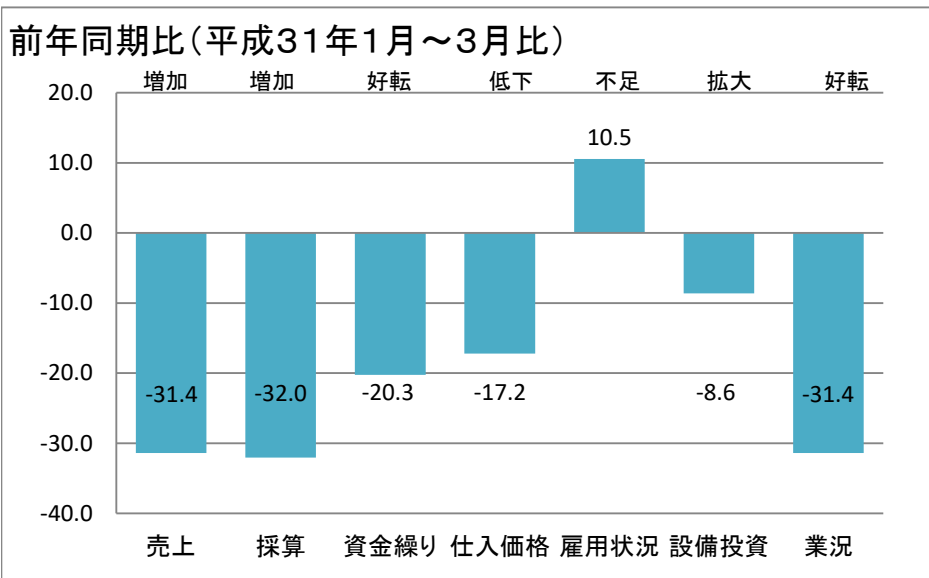


前期と比較すると、すべての項目でマイナスの数値を示す結果となった。

特に売上・採算については、▲30以上の数値を示す結果となった。

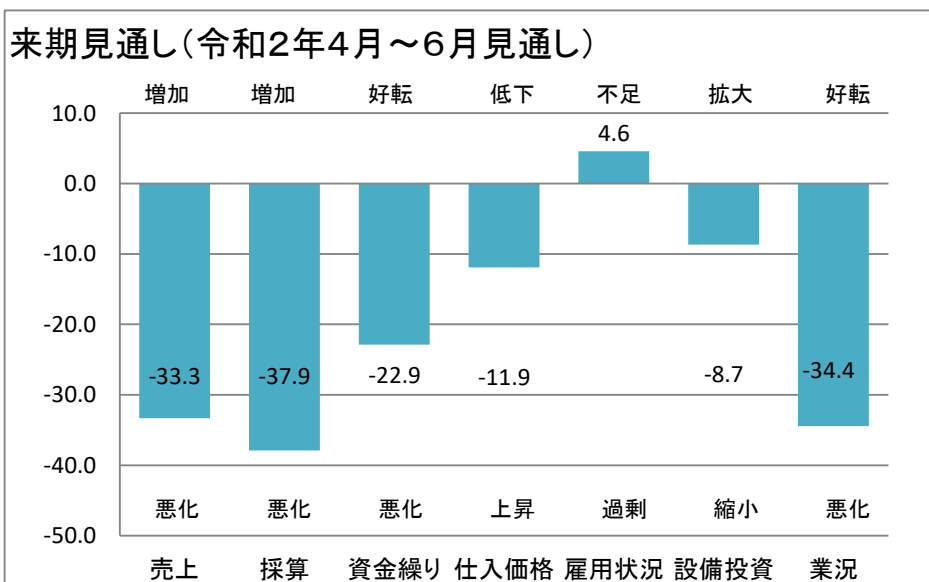
業種別で見ても、売上・採算・業況DIは、大きくマイナスの数値を示す結果となった。

今期は、新型コロナウイルス感染症が流行しており、どの業種でも影響を受けている様子である。



前年同期と比較すると、全ての項目でマイナスの数値を示す結果となった。

業種別で見ると、特に卸売業が▲50という数値になっており、コメントでも新型コロナウイルス感染症の影響と暖冬の影響等が挙げられた。



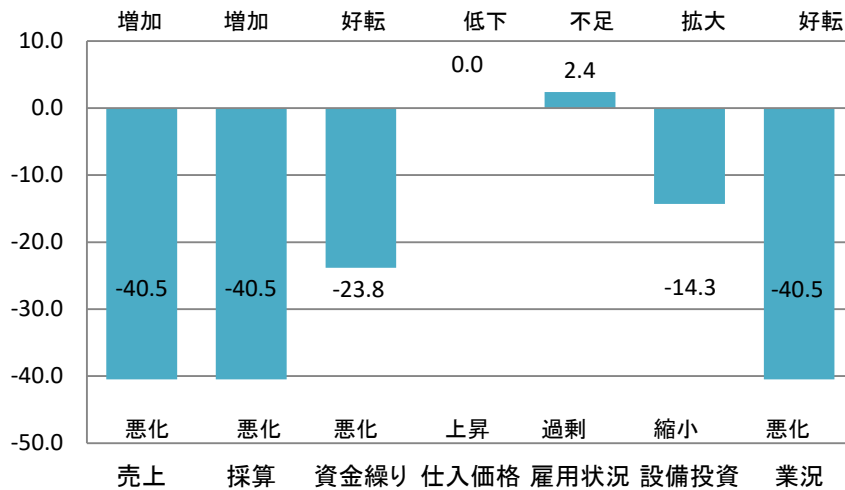
来期の見通しとして、すべての項目でマイナスの数値を示す結果となった。

今期に発生した新型コロナウイルス感染症により外出自粛の動きがみられ、客数の減少等影響が出ており、今後の先行きに対して不安等のコメントがみられた。

5. 業種別の景気動向

(1) 製造業

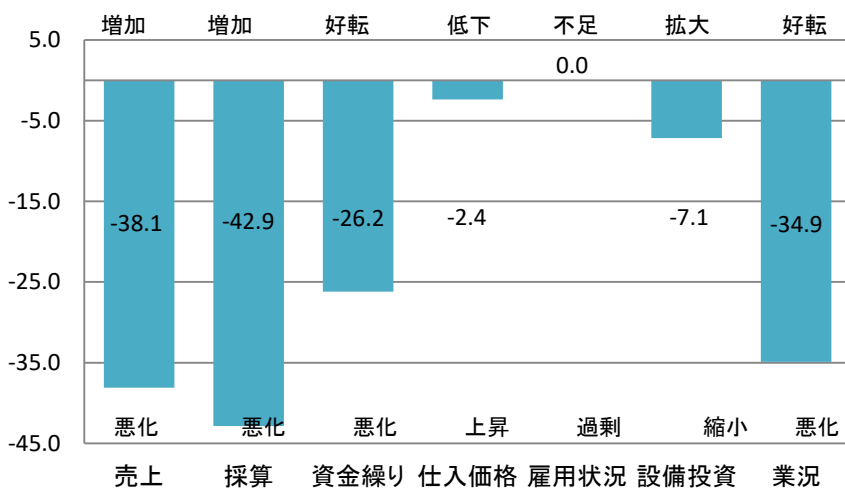
前期比(令和元年10月～12月比)



前期と比較すると、全ての項目において、マイナスの数値を示す結果となった。

新型コロナウイルス感染症の影響による、受注の減少、取引先の休業、海外取引先の生産減少等のコメントが見られた。

前年同期比(平成31年1月～3月比)

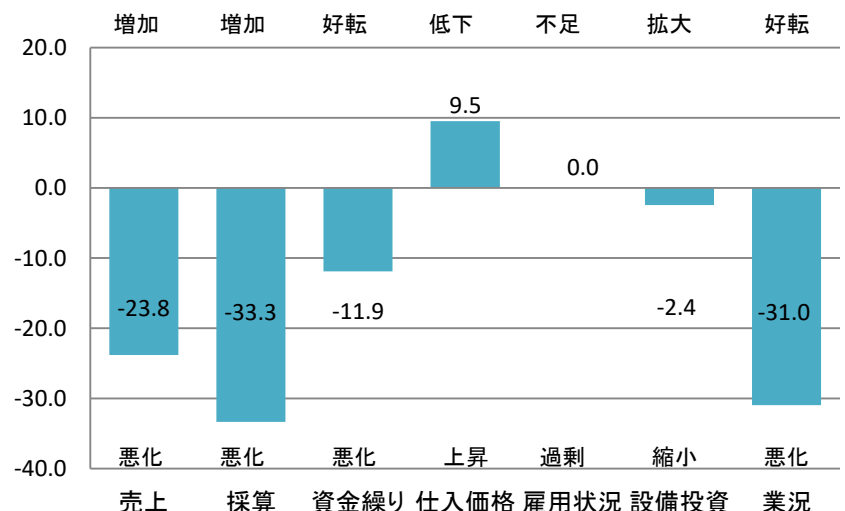


前年同期と比較すると、全ての項目において大幅なマイナスの数値を示す結果となった。

企業のコメントでも、新型コロナウイルス感染症の影響として、受注の減少、国内・海外取引先の生産量の減少等みられた。

また、消費税増税の影響もあるとのコメントも見られた。

来期見通し(令和2年4月～6月見通し)

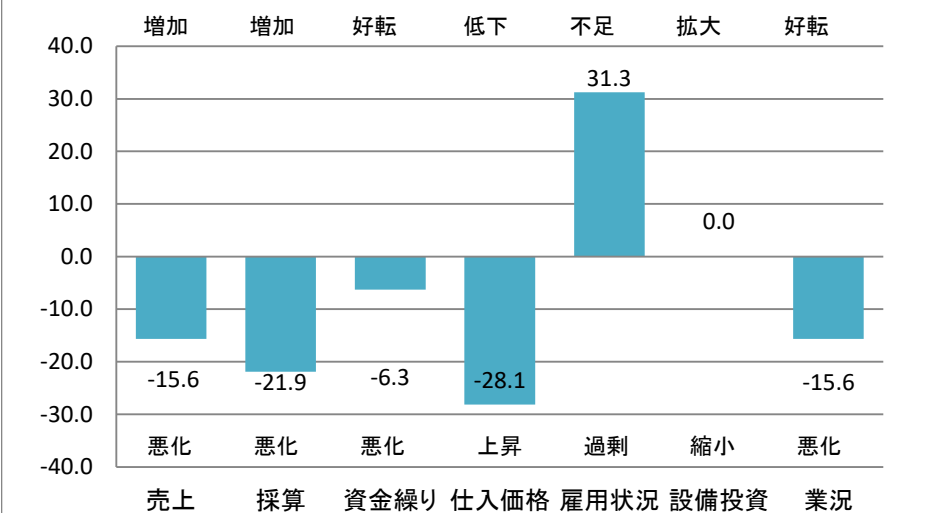


来期の見通しは、仕入価格DIが低下を示す以外の項目において、マイナスの数値を示す結果となった。

新型コロナウイルス感染症の影響は続くと予想するコメントも多く、いつまで影響が続くかを不安視するコメントも見られた。

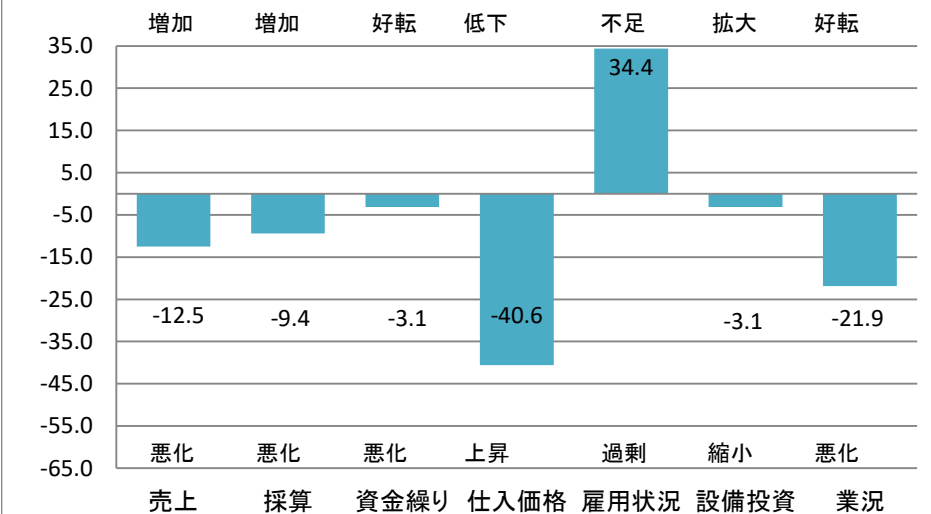
5. 業種別の景気動向 (2) 建設業

前期比(令和元年10月～12月比)



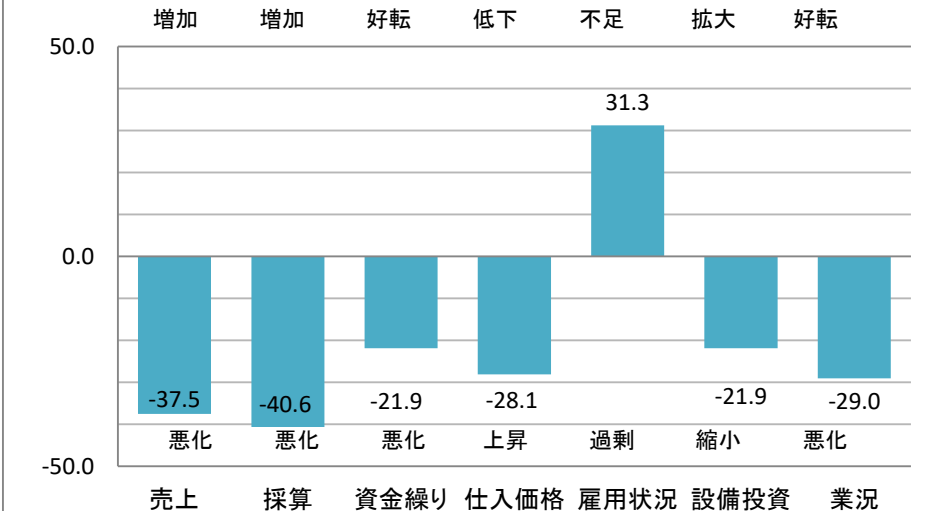
前期と比較すると、全ての項目でマイナスの数値を示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響で、工事の延期や中止、受注の減少等のコメントが見られた。

前年同期比(平成31年1月～3月比)



前年同期と比較すると、全ての項目でマイナスの数値を示す結果となった。コメントを見ると、ライフラインに関わる水道・電気工事に関しては、受注・売上ともに横ばいか増加という結果であった。しかし、多くの建設業では、工事の延期、中止、海外製の部品が入手困難となり工事が止まった等のコメントも見られた。

来期見通し(令和2年4月～6月見通し)

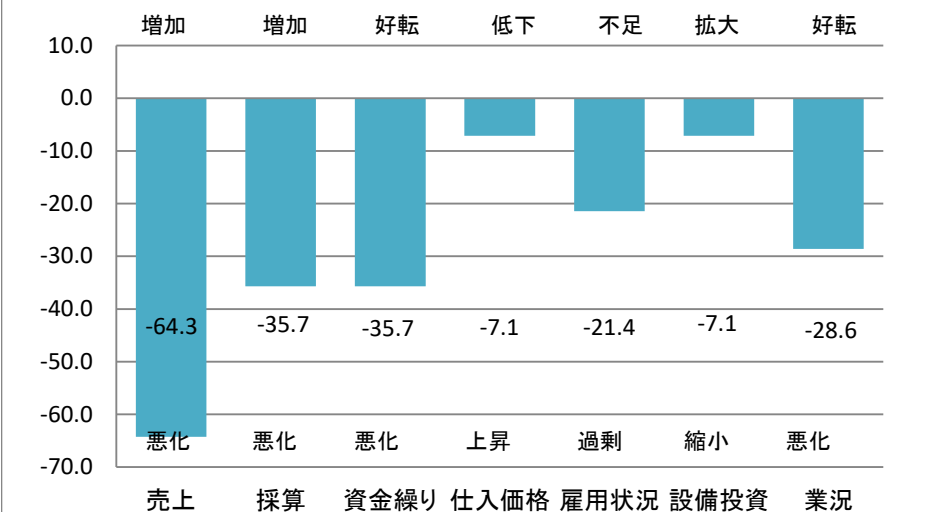


来期の見通しは、全ての項目で▲20以上の数値を示す結果となった。コメントでも、新型コロナウイルス感染症の影響がどれほど続くかの見通しが立たず、今後の動向を不安視する声が聞かれた。

5. 業種別の景気動向

(3) 卸売業

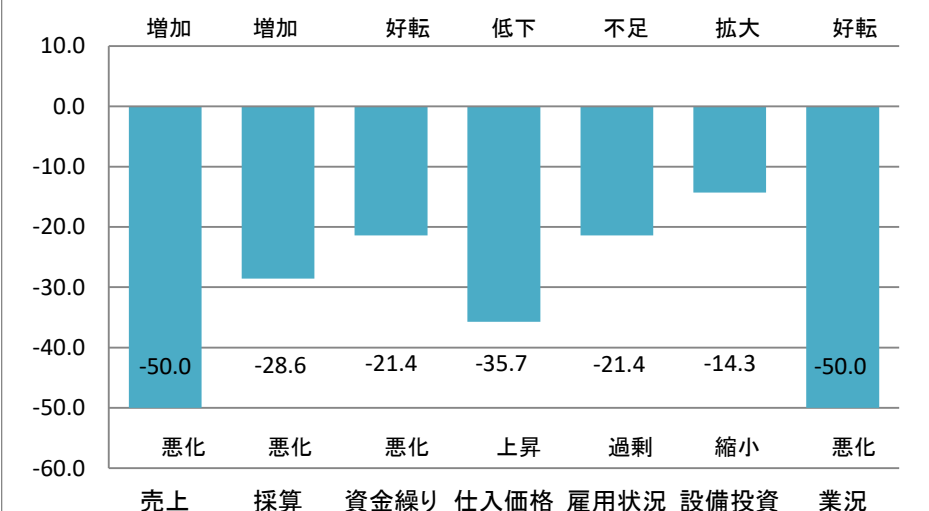
前期比(令和元年10月～12月比)



前期と比較すると、雇用状況DIは過剰を示し、その他の項目は、マイナスの数値を示す結果となった。売上DIは▲64.3と大幅なマイナスの数値となった。

青果卸の事業所では、学校給食が3月から停止し、納入ができなくなったというコメントが見られた。

前年同期比(平成31年1月～3月比)

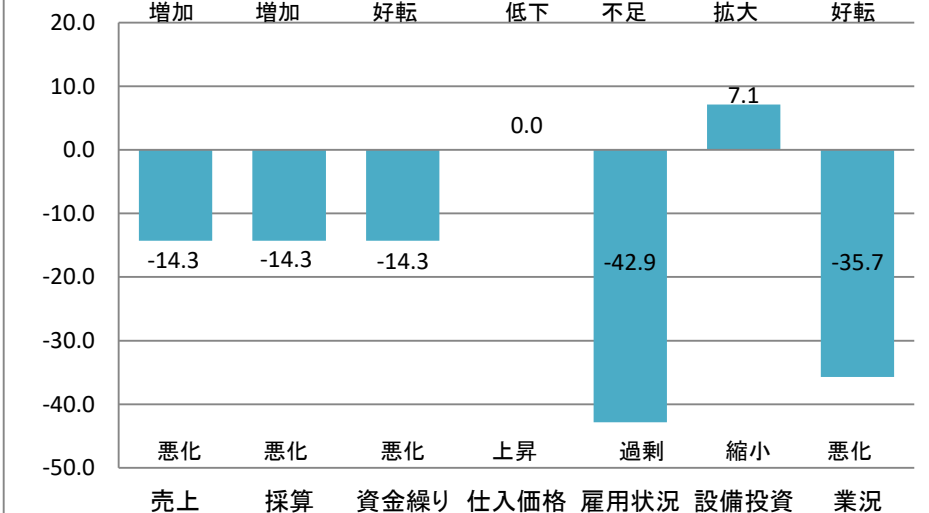


前年同期で比較すると、雇用状況DIは過剰を示すものの、その他のDIは▲10を超える数値を示す結果となった。

特に売上DIと業況DIは▲50となった。

コメントとしては、新型コロナウイルス感染症と消費税増税の影響による売上の減少、暖冬による需要の停滞等が挙げられた。

来期見通し(令和2年4月～6月見通し)



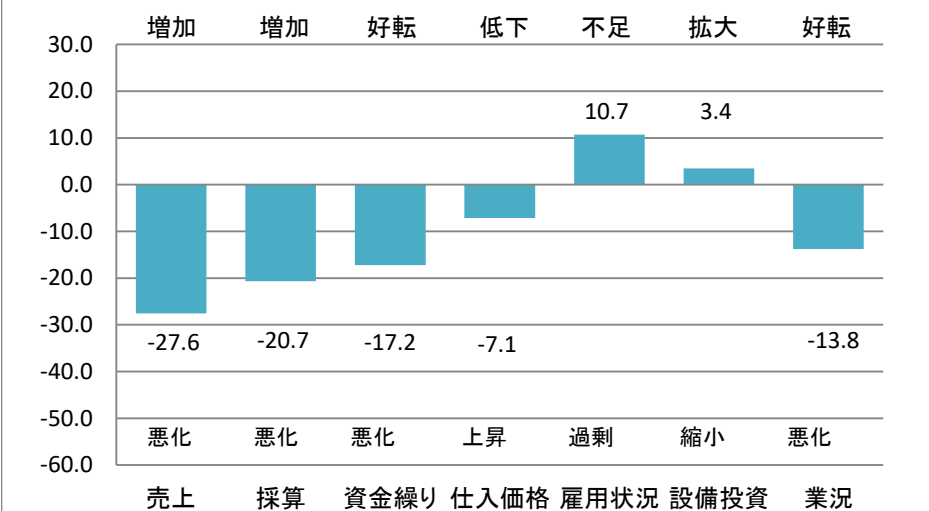
来期の見通しとして、設備投資DIがプラスの数値を示しているが、その他の項目は▲10以上の数値を示す結果となった。

取引先が新型コロナウイルス感染症の影響を受けており、取引先の動向から自社の業況悪化を懸念しているというコメントが見られた。

5. 業種別の景気動向

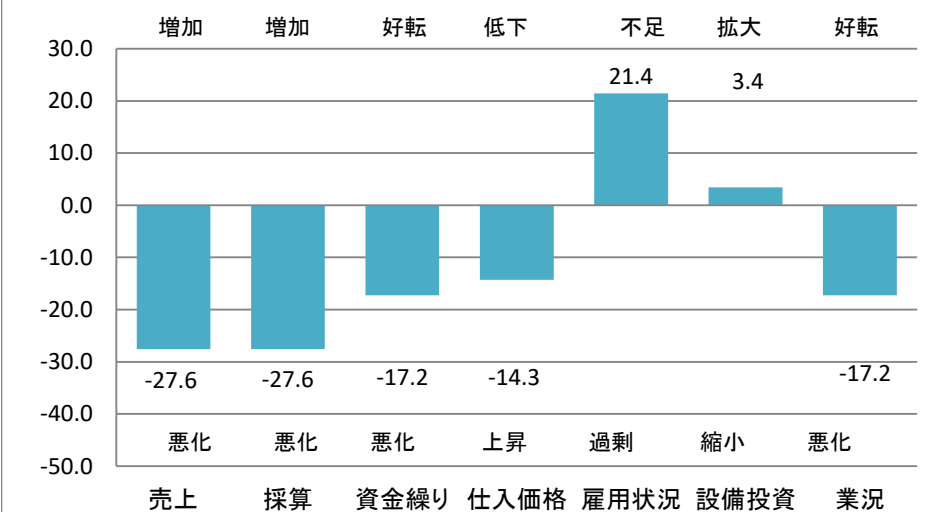
(4) 小売業

前期比(令和元年10月～12月比)



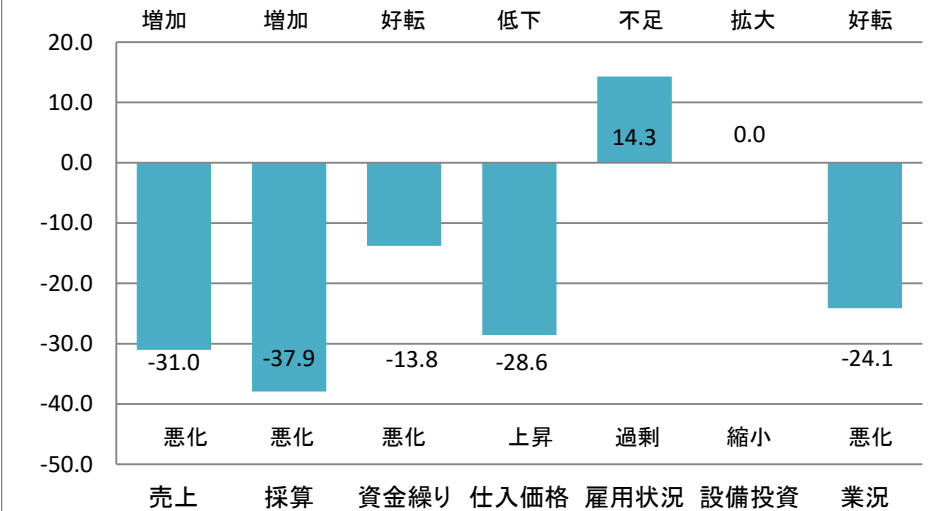
前期と比較すると、設備投資DIは3.4とプラスの数値を示したが、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。
 新型コロナウイルス感染症の影響による来客数の減少、消費税増税の影響、暖冬による商品の販売数減少等のコメントが見られた。

前年同期比(平成31年1月～3月比)



前年同期と比較すると、設備投資DIは3.4とプラスの数値を示したが、その他の項目はマイナスの数値を示す結果となった。
 コメントでは、新型コロナウイルス感染症の影響で、フェアや商談等の開催自粛や来客数の減少が見られた。
 一方、一部では、ECサイトでの販売が好調とのコメントも見られた。

来期見通し(令和2年4月～6月見通し)

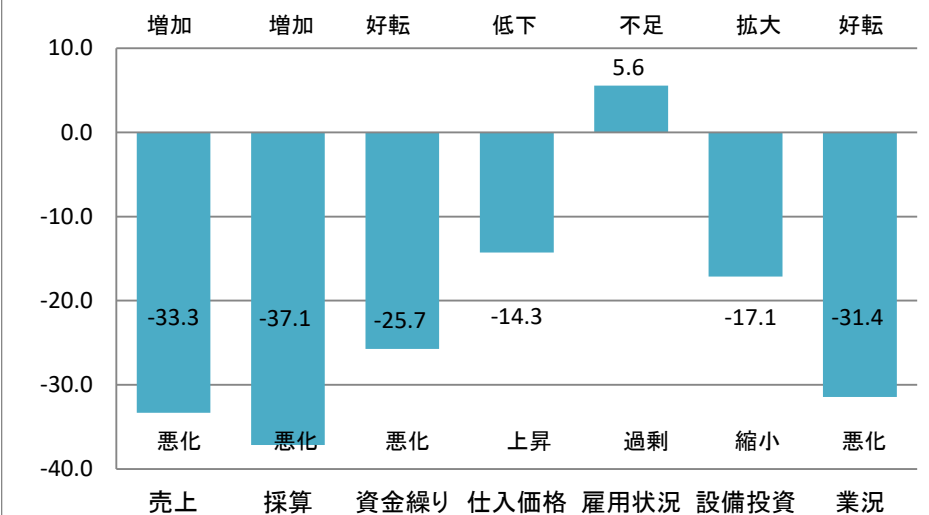


来期の見通しとして、すべての項目で▲10以上の数値を示す結果となった。
 コメントでは、催事の規模縮小、イベントの中止・延期による売上の減少、新型コロナウイルス感染症の第2波への懸念等がみられた。

5. 業種別の景気動向

(5) サービス業

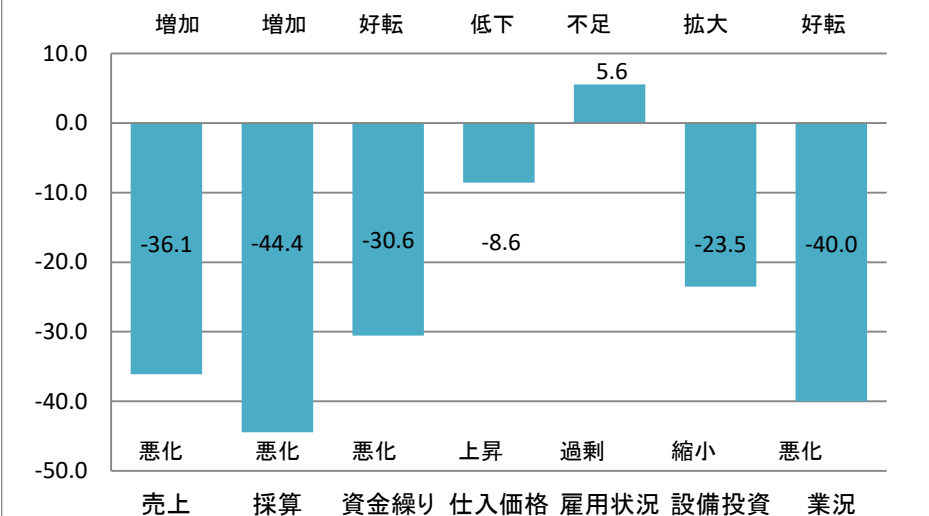
前期比(令和元年10月～12月比)



前期と比較すると、すべての項目で、マイナスの数値を示す結果となった。

新型コロナウイルス感染症の影響で、ホテル業では予約のキャンセル、利用客の減少による売上の減少等のコメントがみられた。

前年同期比(平成31年1月～3月比)

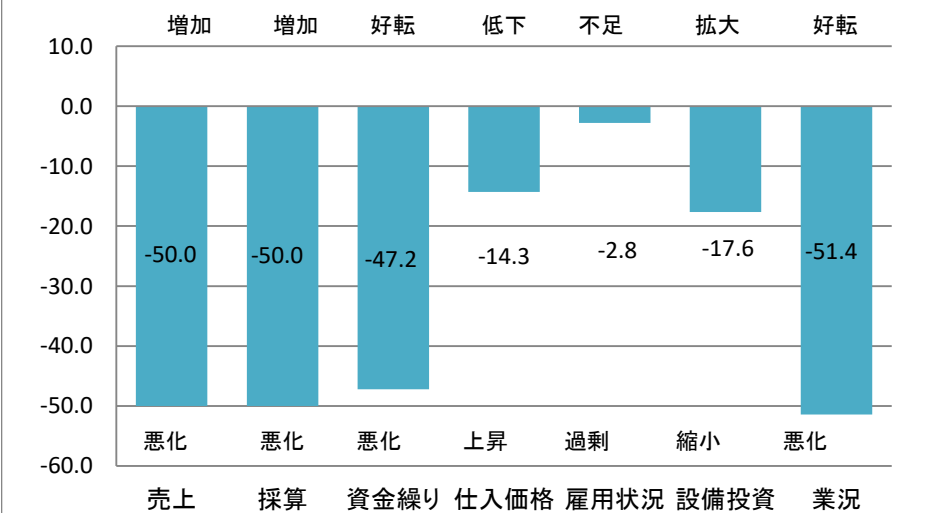


前年同期と比較すると、すべての項目でマイナスの数値を示す結果となった。

コメントでは、新型コロナウイルス感染症の影響で、利用客の減少、ホテルの予約のキャンセル、需要の減少等がみられた。

一方、Windows7サポート終了に伴う入替などの特需があったというコメントも見られた。

来期見通し(令和2年4月～6月見通し)



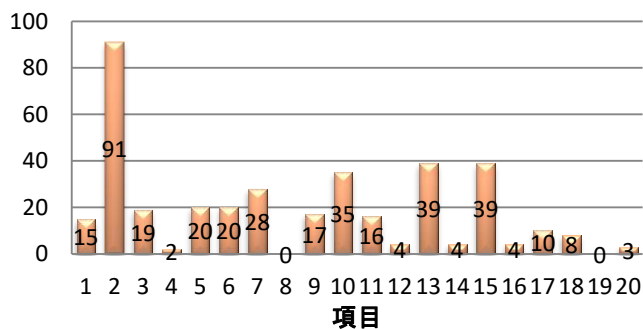
来期の見通しとして、雇用状況DIはプラスの数値となったが、その他の項目は、▲14以上の数値を示す結果となった。

新型コロナウイルス感染症の影響で、事業縮小の検討、需要の減少、来客数の減少等を懸念するコメントがみられた。

また、感染防止対策費用の増加、雇用内容等の見直しを検討するコメントも見られた。

6. 経営上の問題点

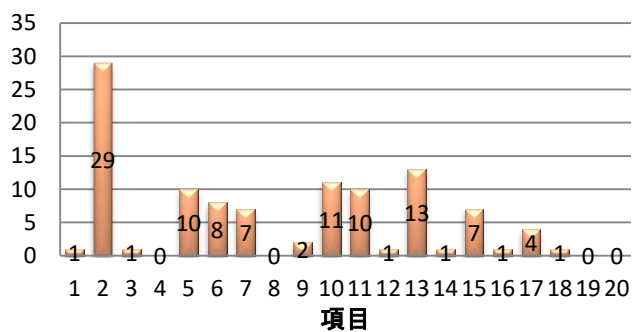
全業種



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 熟練技術者(従業者)の不足
- 2位 従業員の不足
- 4位 人件費の増加
- 5位 原材料(仕入単価)価格の上昇

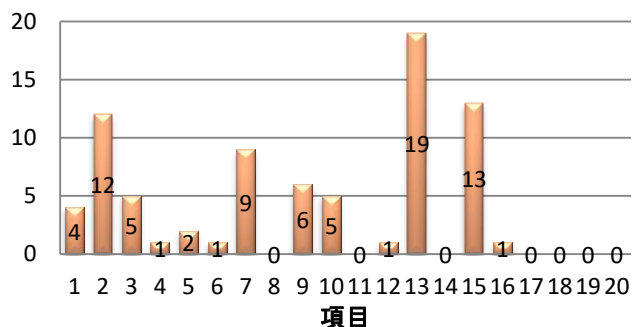
製造業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 熟練技術者(従業者)の不足
- 3位 人件費の増加
- 4位 生産設備の不足・老朽化
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難

建設業



順位

- 1位 熟練技術者(従業者)の不足
- 2位 従業員の不足
- 3位 需要の停滞
- 4位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 5位 原材料・人件費以外の経費の増加

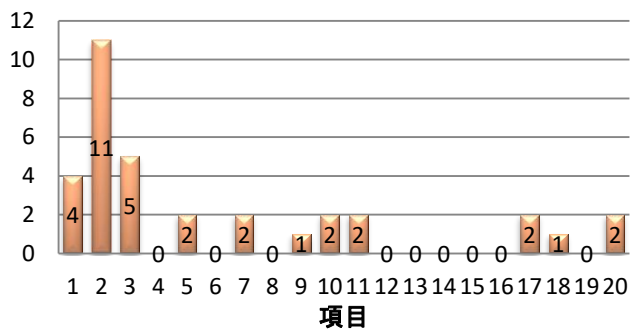
項目一覧

1. 県外大手企業の進出による競争の激化
3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化
5. 生産設備の不足・老朽化
7. 原材料(仕入単価)価格の上昇
9. 原材料・人件費以外の経費の増加
11. 製品(販売)単価の低下・上昇難
13. 熟練技術者(従業者)の不足
15. 従業員の不足
17. 商品在庫の過剰
19. 円高による海外製品との競争激化

2. 需要の停滞
4. 新規参入業者の増加
6. 製品ニーズの変化
8. 生産設備の過剰
10. 人件費の増加
12. 原材料の不足
14. 金利負担の増加
16. 事業資金の借入難
18. 取引条件の悪化
20. 代金回収の悪化

6. 経営上の問題点

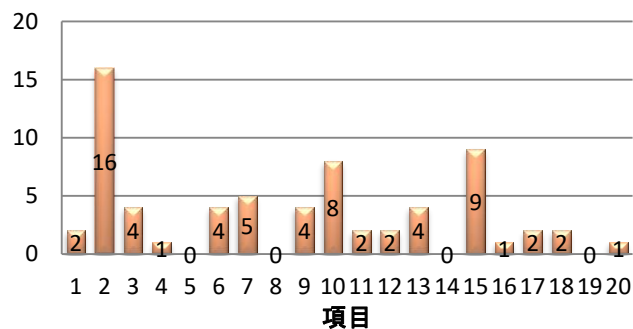
卸売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 生産設備の不足・老朽化
- 4位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 人件費の増加
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 商品在庫の過剰
- 4位 代金回収の悪化

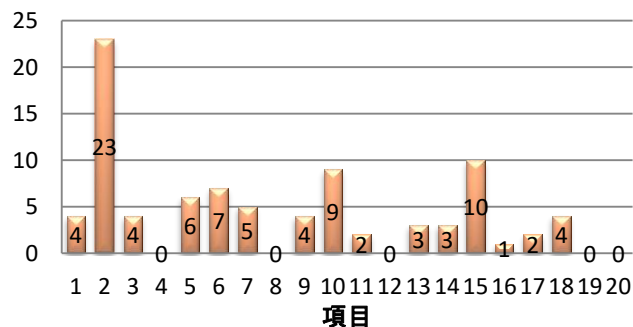
小売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 従業員の不足
- 3位 人件費の増加
- 4位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5位 製品ニーズの変化
- 5位 原材料・人件費以外の経費の増加
- 5位 熟練技術者(従業者)の不足

サービス業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 従業員の不足
- 3位 人件費の増加
- 4位 製品ニーズの変化
- 5位 生産設備の不足・老朽化

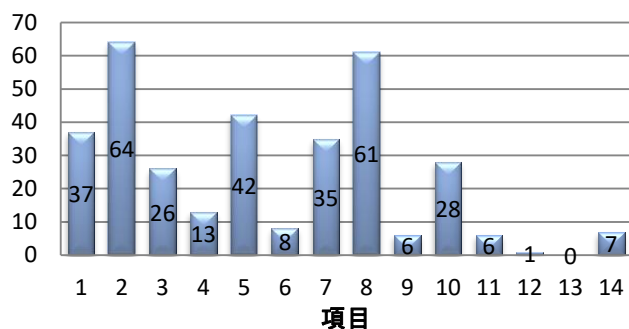
項目一覧

- 1. 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5. 生産設備の不足・老朽化
- 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 9. 原材料・人件費以外の経費の増加
- 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 13. 熟練技術者(従業者)の不足
- 15. 従業員の不足
- 17. 商品在庫の過剰
- 19. 為替相場による海外製品との競争激化

- 2. 需要の停滞
- 4. 新規参入業者の増加
- 6. 製品ニーズの変化
- 8. 生産設備の過剰
- 10. 人件費の増加
- 12. 原材料の不足
- 14. 金利負担の増加
- 16. 事業資金の借入難
- 18. 取引条件の悪化
- 20. 代金回収の悪化

7. 今後の対応策

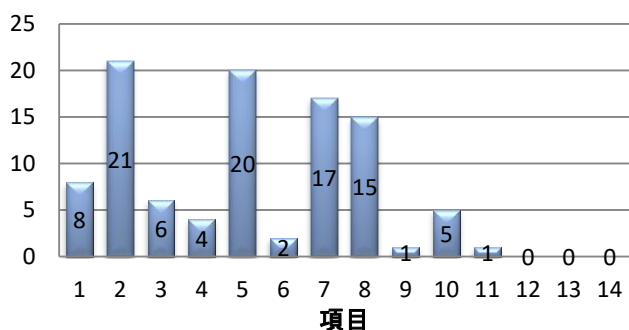
全業種



順位

- 1位 生産性を向上させたい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 その他の合理化を実施したい
- 4位 従業員を新規雇用したい
- 5位 新製品の開発を行いたい

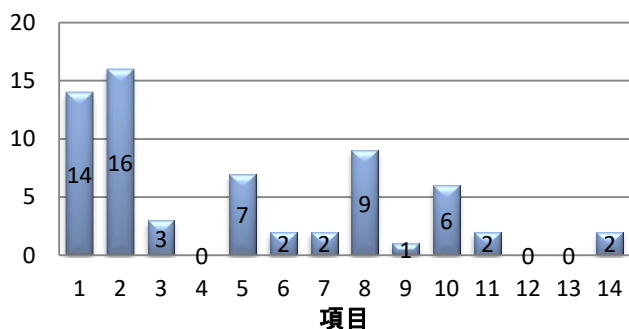
製造業



順位

- 1位 生産性を向上させたい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 新規市場を開拓したい
- 5位 従業員を新規雇用したい

建設業



順位

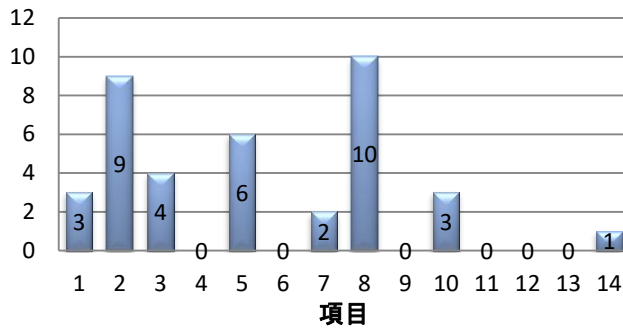
- 1位 生産性を向上させたい
- 2位 従業員を新規雇用したい
- 3位 新規市場を開拓したい
- 4位 その他の合理化を実施したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

項目一覧

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい | 2.生産性を向上させたい |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | 7.新製品の開発を行いたい |
| 6.金融機関から資金を調達したい | 9.業種転換を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 13.海外から原料・部品を調達したい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | |

7. 今後の対応策

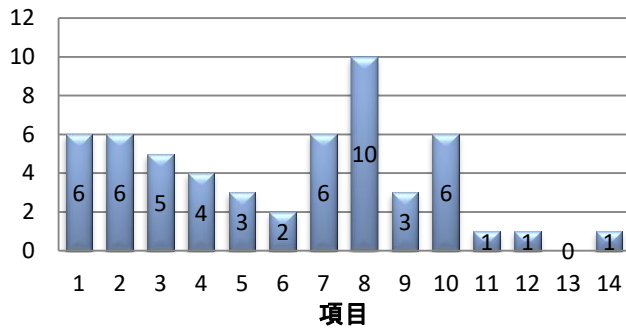
卸売業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 生産性を向上させたい
- 3位 その他の合理化を実施したい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 従業員を新規雇用したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

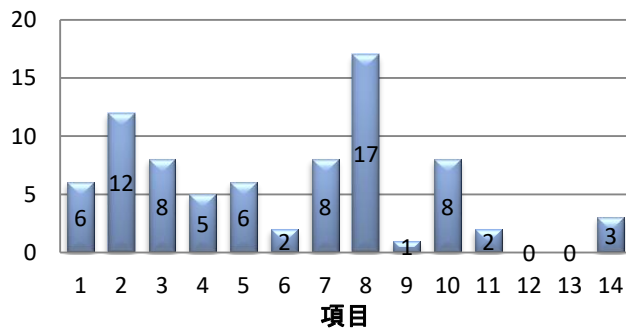
小売業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 従業員の新規雇用をしたい
- 2位 生産性を向上させたい
- 2位 新製品の開発を行いたい
- 2位 経営の多角化を行いたい

サービス業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 生産性を向上させたい
- 3位 人件費を削減したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 3位 経営の多角化を行いたい

項目一覧

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい | 2.生産性を向上させたい |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | |
| 6.金融機関から資金を調達したい | 7.新製品の開発を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 9.業種転換を行いたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | 13.海外から原料・部品を調達したい |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	製材業	都城	現在の状況がいつまで続くか分からない。 休業ではなく、残業停止を行うだけで社員の方の収入が減ってしまう、売上が落ちている中でも社員とその家族の生活を守らなければいけない。 休業していなくても活用できる賃金補償があればありがたい。
サービス業	ホテル業	都城	コロナの終息と日常の回復。
卸売業	建築資材卸	都城	社会不安により住宅着工数の減少が懸念される為、川上の素材業から川下の工務店までの住宅産業をとりまく構造不況が心配される。
小売業	衣料品販売業	都城	コロナの終息と日常の回復、ウイルスの影響大、生活環境が変わり今後の見通しが立たない。
小売業	衣料品・食料品他小売	宮崎	雇用調整助成金を2020年度を通して、受給できるようにしてもらいたい。
小売業	石油液化ガス製品小売	宮崎	当社としましては、新型コロナウイルス感染症特例融資等を借入し、一行は実行も終わった。 あと一行の金融機関からの借入を7月中旬に見込んでいる。
サービス業	民間放送業	宮崎	全国の自治体で景気対策を独自にやっているが、他の都道府県と比較すると、宮崎は劣後しているように見え、需要喚起として見劣りしているように思える。
製造業	オフセット印刷物製造	宮崎	新しい生活様式に対して、自分の役割が何かを早急に見つけなくてはならない。
建設業	総合建設業	宮崎	新型コロナウイルス感染症による経済縮小に対する景気対策の透明性を持って実行していただきたい。

卸売業	包装材文具日用品卸	宮崎	新型コロナウイルス感染症対策で見えたこと。 ①行政の縦割体制と縄張り意識により仕事が進まない ⇒若い人材で革命を望む。 ②全てにおいて人海戦術⇒外国に勝てない。
製造業	食品添加物製造業	宮崎	リーマンショック、東日本大震災を大きく超える需要の減少は、従業員の雇用も含めて考えさせられる。
製造業	木製家具・建具・木工事・内装	宮崎	コロナ対策に建設業界への対策を盛り込んでほしい。 2022年度は全く行き先が読めない状況。
製造業	輸送機器製造業	宮崎	中小企業だけでなく、広く産業界の支援をお願いしたい。
製造業	金属製品製造業	宮崎	取引先及び自社において適切な設備投資が継続できるような施策を行ってほしい。
建設業	電気工事	延岡	新入社員・中途採用の活動をしていきたい。 コロナ感染者を発生させてはならない。 感染防止の対策を二重三重に徹底すること。 絶対に地元から感染者を出してはならない。
小売業	切花鉢物販売	延岡	インフラの整備が進み、広域的な競争になってきている。 地元での販売に心掛けたいが、競争は地元以外の業者となることで、仕入単価等で地方ではどうしてもかなわない事が多くなってきている。 地産地消ビジネスを推奨する場合に、外部業者との競争できるように規制及び補助をより細かくして欲しい。
製造業	鑄造及び機械加工	延岡	現状、コロナ以後の経済活動の大きな変化が予想される。 その変化に応じた大きな経済対策が必要と考えられる。 オンライン対応策、出張や移動の制限による経済活動の変化に応じた対応策等、コロナが収束した後も、現状の対応は継続していくであろうと思われるので、状況に応じて、変化対応していく事が重要と考えます。
建設業	塗装業	延岡	コロナの影響で様々なイベントが中止又は延期になっている。営業面・教育面・採用面のイベントについて、随時情報提供をお願いします。
製造業	プラスチック金型製造修理	延岡	新型コロナの影響をどの企業も心配しているかと思います。 企業にとって助成金や給付金も有りがたいのですが、どこまで幅を広げていくか。 現状では手続きの簡素化や処理の早さが課題と言われているようですので、その点については至急対応していただきたいと思っています。

サービス業	ホテル業	延岡	現状のコロナ対策が迅速に実行されることを望む。
製造業	種鶏業	日向	不景気対策とコロナを一緒にしないでほしい。
建設業	建設	日向	入札制度を変えてもらわないと、宝くじに当たるような今の制度では経営は厳しい。
卸売業	業務用製品卸	日向	外食産業に携わっている関係上、市民の外食自粛の影響がひどく響く業態なので、クーポン等の積極的な取組を今回だけではなく来年も見据えた計画を立ててほしい。
卸売業	食品卸売	日向	昨年10月からの複数税率により、予想以上に事務的負担が大きい。早急に複数税率廃止をして欲しい。
サービス業	飲食業	日向	コロナの影響で飲食業は大変な状況となっている。軽減税率の問題等もあり外食ニーズが減り、スーパーの総菜などへの移行が心配される。
サービス業	サービス業	日向	ワクチンの流通によるコロナの終息。
サービス業	タクシー業	日向	コロナウイルス感染後、又、感染検査ができる医療機関が充実し市民が安心して外出できる環境づくりに対する対策。
建設業	建築一式工事	高鍋	一日も早くコロナのワクチンを望む。
小売業	食料品小売業	高鍋	いろいろな商品券の発行はとても良い影響がある。

小売業	食品小売業	高鍋	コロナによる売上減少事業者への補填も理解できるが、これまでに納税した実績に応じて減税クーポンを発行して欲しい。売上調整等で給付金を期待すると経済活動が緩くなる。
建設業	建築工事業(木造含)	高鍋	政府と民間企業の温度差。 若手人材育成について、補助金を出せばOKではなく熟練技術者を専門校の講師へと招待するシステムを早く作って欲しい。今後、災害も増えるので、職人も必要。
サービス業	不動産管理	日南	今はコロナウイルスの終息を願うしかありません。 困難のこの時期に1人1人の意識を高めていくしかないかと思っています。 緊急事態宣言は遅きに逸した感があります。
卸売業	建築資材卸	日南	とにかくまったなし。 諸施策をスピード感をもってやってもらいたいと思います。
サービス業	建築設計	日南	県南に建設関連の学校を開校して頂きたい。
小売業	小売酒飯店	日南	地方経済の衰退を防ぐ政策をお願いしたい。
建設業	水道工事	日南	現状では建築業界にはコロナウイルスの影響はさほどないが、これから新築物件などの受注が減ってきそうなので考える面がある。自社の強みを作っていきたい。
サービス業	環境整備	日南	コロナウイルスで家賃値下げ依頼がある。 国・県・市の対応と対象外のお店等の対応をするためにも明確な提示が必要となる。
卸売業	卸売市場	小林	コロナで3割～4割減で補助金対象にならないので苦しい状況が続くと考えられる。
小売業	記念品販売	小林	国の介護報酬の削減により事業者は経営の悪化を招きつつある。 また最低賃金の引き上げにより経営を圧迫しつつあると思われる。

小売業	事務機、事務用品販売	小林	PCR検査の拡充と医療体制の確保(病床数受け入れ体制強化)、経済でお金が回るしくみ、しかけをお願いしたい。
製造業	焼酎製造業	小林	景気回復対策。
サービス業	葬祭業	小林	1.行政手続の簡素化と不合理な慣例の撤廃 2.地方へのIT導入促進・支援 3.恒久的な財源の確保と無駄の廃止
製造業	焼酎製造販売	串間	コロナ後がどうなるのか？そもそも”後”なのかも不透明ですが、売り上げ回復できる仕組みを目指したいところ。持続化給付金の要件拡大をお願いしたい。
建設業	建築業	串間	大企業のような大量注文や在庫確保は不可でそれぞれの材料単価がどうしても高くなり、見積もり競争、入札等不利となります。弊社ならではの独自のアイデアを打ち出す時期と考えます。
製造業	焼酎製造業	串間	消費拡大の為の対策を引き続きお願いしたく存じます。
建設業	電気工事業	西都	行政に係わる人件費等の削減が急務だと思う。
サービス業	理美容業	西都	コロナによる売上減にて、無利子などの対策を早急をお願いしたい。 将来が見通せなくて不安・・・。
小売業	プロパンガス、自転車販売	西都	商工会議所を中心に商工業支援をお願いしたい。
サービス業	飲食業	西都	第2波が始まる前に、オンライン授業の準備を。 Wi-Fiが全体に届くように、子供達の未来のために考えて欲しい。 第2波は、大変な事になるかもしれない。 まだ県内だけで経済を回して欲しい。